

令和 6 年度進行管理シート

《基本目標 1》「強靱」な水道の構築

主要施策（１）安定給水の確保

主な取組名 ① 浄・給水場等の更新・整備

主な事業名		ちば野菊の里浄水場（第 2 期）施設整備事業【計画課】					
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)			
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計	
532, 059	533, 879	1, 249, 481	1, 783, 360	1, 517, 681	141, 515	1, 659, 196	
達成指標	(ア) ちば野菊の里浄水場（第 2 期）施設整備の推進			達成状況	－		
【R6 年度事業計画】 ちば野菊の里浄水場（第 2 期）施設整備事業については、これまでに施設工事や試運転を実施し、令和 6 年 3 月に稼働を開始しました。なお、令和 6 年度は、太陽光発電設備工事などの残工事を進めていきます。							
【事業の実施状況】 令和 6 年度は、太陽光発電設備工事が完成しました。							
【今後の具体的取組】 本事業は、令和 5 年度に施設を稼働したことから、主要施策である安定給水の確保について達成しました。							

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	洗浄排水池築造工事の完成	洗浄排水池機械設備工事の完成	施設の稼働	－	－
実績	洗浄排水池築造工事の完成	洗浄排水池機械設備工事の完成	施設の稼働	－	－

主な事業名		栗山浄水場給水場化に係る施設整備事業【計画課】					
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)			
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計	
53, 378	53, 378	40, 167	93, 545	93, 544	0	93, 544	
達成指標		(イ) 栗山浄水場給水場化に係る施設整備の推進			達成状況		達成している
【R6 年度事業計画】 栗山浄水場給水場化に係る施設整備事業については、これまでに発注した浄水施設撤去に係る実施設計業務委託の着実な進捗を図るとともに、浄水施設の撤去方法を決定してまいります。							
【事業の実施状況】 令和6年度は、浄水施設撤去に係る実施設計業務委託の進捗管理を行い、計画どおり、実施設計業務委託を完了し、浄水施設撤去方法を決定しました。							
【達成状況の分析及び課題】 計画していた浄水施設撤去に係る実施設計業務委託の完了・浄水施設撤去方法の決定により、目標を「達成している」と評価しました。							
【今後の具体的取組】 今後は、浄水施設の撤去工事に着手する計画であり、引き続き、事業の着実な進捗を図っていきます。							
	R3	R4	R5	R6	R7		
計画	基本設計業務委託の完了	実施設計業務委託の発注	地質調査業務委託の発注	浄水施設撤去に係る実施設計業務委託の完了・浄水施設撤去方法の決定	浄水施設撤去工事の着手		
実績	基本設計業務委託の完了	浄水施設撤去に係る実施設計業務委託の発注	地質調査業務委託の発注	浄水施設撤去に係る実施設計業務委託の完了・浄水施設撤去方法の決定			

主な事業名		浄・給水場等の非常用自家発電設備、燃料用タンクの整備【浄水課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
14, 517, 335	13, 345, 863	2, 067, 494	15, 413, 357	6, 327, 345	8, 209, 564	14, 536, 909
達成指標		(ウ) 自家発電設備の増強施設数			達成状況	進展していない
【R6 年度事業計画】						
大規模な停電時においても、安定して水を供給できるように、浄・給水場における非常用自家発電設備の増強(72 時間対応へ)を実施します。						
令和 6 年度は、木下取水場、柏井浄水場、姉崎分場、北習志野分場、妙典給水場、成田給水場、北船橋給水場、松戸給水場、沼南給水場、印旛取水場、幕張給水場、福増浄水場、高滝取水場、千葉分場、千葉配水場、大宮分場、船橋給水場における非常用自家発電設備の増強が完了します。						
				</		

主な取組名 ② 管路の更新・整備

主な事業名		铸铁管更新工事【給水課】						
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)				
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計		
28,400,000	27,651,566	11,156,535	38,808,101	26,342,558	10,745,161	37,087,719		
達成指標	(エ) 小中口径管の更新延長				達成状況	概ね達成している		
【R6 年度事業計画】 近い将来に発生が懸念される首都直下地震等の大規模地震に備え、湾岸埋立地域の管路や、病院・防災拠点等の重要給水施設への管路を優先するとともに、強度が低下するおそれや赤濁水の発生が懸念される管路等について更新します。								
				R3	R4	R5	R6	R7
計画				80km/年	80km/年	80km/年	80km/年	80km/年
実績				73.5 km/年	80.0 km/年	66.9 km/年	78.6 km/年	
【事業の実施状況】 令和6年度の実績は、計画の80kmに対し、78.6kmとなりました。(目標に対する実績は、98%)								
【達成状況の分析及び課題】 一部入札不調となったことや道路管理者等との協議に時間を要したことなどにより、進捗に遅れが生じ、計画に対する達成実績は98%となっていることから「概ね達成している」と評価しました。								
【今後の具体的取組】 入札不調への対策として柔軟な工期設定が可能なフレックス工期契約制度の活用や工事の平準化、必要に応じて工事規模の見直しを行うとともに、道路管理者等との綿密な協議・調整を行うなど計画的に実施していきます。								

主な事業名		大口径管路更新工事（一抔栗山～船高線他）【給水課】							
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)					
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計			
3, 039, 090	2, 197, 510	1, 506, 691	3, 704, 201	2, 543, 927	774, 736	3, 318, 664			
達成指標	(オ) 大口径管路更新の実施				達成状況	進展していない			
【R6 年度事業計画】 ダクタイル鋳鉄管※よりも強度が低い高級鋳鉄管※を使用した大口径管路について、重要度及びバックアップの可否を評価基準とした優先順位を付けて更新を進めます。 令和6年度は、一抔園生～登戸線、一抔船高～園生線、園生～小倉線、藤崎～袖ヶ浦団地線の4路線において、計8件の工事に着手します。 ※ダクタイル鋳鉄管：高級鋳鉄管より管体強度が高く、耐震性に優れている水道管で、現在、県営水道で主に使用している。 ※高級鋳鉄管：昭和5年から昭和46年頃まで製造された水道管で、ダクタイル鋳鉄管より管体強度が弱く、耐震性が低い。県営水道では、昭和40年頃まで布設し、現在でも一部に使用している。					R3	R4	R5	R6	R7
				計画	3 路線・ 計 5 件の 工事着手	5 路線・ 計 7 件の 工事着手	5 路線・ 計 8 件の 工事着手	4 路線・ 計 8 件の 工事着手	5 路線・ 計 9 件の 工事着手
				実績	2 路線・ 計 2 件の 工事着手	2 路線・ 計 3 件の 工事着手	1 路線・ 計 2 件の 工事着手	1 路線・ 計 1 件の 工事着手	
【事業の実施状況】 令和6年度は、計画していた8件の工事のうち、園生～小倉線の1路線において1件の工事に着手しました。									
【達成状況の分析及び課題】 工事着手を計画していた7件のうち、2件は応札者がおらず、入札不調となり未着手となりました。3件は試掘の結果、他企業管の占用位置が基本設計で調査した位置と異なっていることが判明し、実施設計に時間を要したため、発注を見合わせました。残りの2件は、別路線の更新に係る検討において、効率的な水運用や更新方法を検討する中で、工事区間の一部を統廃合できる可能性が生じたため、発注を見合わせました。 以上の理由により、計画に対する実績は12.5%となったことから、「進展していない」と評価しました。									
【今後の具体的取組】 工事未着手となった7件のうち、入札不調となった2件については、令和7年度中に再発注を予定しています。実施設計に時間を要している3件について、実施設計が完了した1件は、令和7年度に工事を発注する予定であり、それ以外の2件は、一部区間において施工方法やルートの見直しが必要なため、設計が完了次第、工事を発注します。残りの2件は、路線の統廃合等の検討を行い、設計が完了次第、工事を発注していきます。									

主な事業名		基幹管路の整備（第二木下～柏井導水管）【計画課】					
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)			
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計	
379, 284	221, 615	59, 899	281, 514	84, 367	0	84, 367	
達成指標	(カ) 基幹管路の整備の推進			達成状況		達成している	
【R6 年度事業計画】 既設導水管を運用しながら代替管路を整備し、老朽化対策・耐震化を図ることで安定給水を確保することを目的として、第二木下～柏井導水管の整備を進めます。 令和6年度は、現在実施中である第6工区・第7工区の実施設計業務委託等の着実な進捗を図っていきます。							
【事業の実施状況】 令和6年度は、各工区の実施設計業務委託等の進捗管理を行い、計画どおり、第6・7工区の実施設計業務委託を完了しました。							
【達成状況の分析及び課題】 計画していた第6・7工区の実施設計業務委託の完了により、目標を「達成している」と評価しました。							
【今後の具体的取組】 引き続き、第4工区の業務委託等の着実な進捗を図っていきます。							

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	実施設計業務委託の完了 (第3工区)	実施設計業務委託の完了 (第5工区)	実施設計業務委託の完了 (第8工区)	実施設計業務委託の完了 (第6工区・第7工区)	実施設計業務委託の完了 (第4工区) ※
実績	実施設計業務委託の着手 (第6工区・第7工区)	実施設計業務委託の完了 (第3工区・第5工区)	実施設計業務委託の完了 (第8工区)	実施設計業務委託の完了 (第6工区・第7工区)	

※ 第6回評価会議（R7.3.14）にて、進捗を踏まえ、令和7年度の計画を「地質調査業務委託の発注（第4工区）」に見直ししている。

主要施策（2）災害に強い施設整備の推進

主な取組名 ① 浄・給水場等の耐震化の推進

主な事業名		印旛取水場～柏井浄水場間の調圧水槽の耐震化、船橋給水場配水池の耐震化【浄水課】					
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)			
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計	
673, 925	690, 733	304, 697	995, 430	514, 124	405, 240	919, 364	
達成指標	(ア) 施設の耐震化工事の実施				達成状況	未達成だが進展している	
【R6 年度事業計画】 水を送水する際に管の中の圧力を調整している調圧水槽、一時的に貯水し安定した給水を行うための配水池等について、耐震診断および経年劣化等の状況を踏まえた耐震化を進めていきます。 令和6年度は、印旛系2号調圧水槽耐震化工事と印旛系1号調圧水槽耐震化工事を完了します。							
【事業の実施状況】 印旛系2号調圧水槽耐震化工事が完了しました。 印旛系1号調圧水槽耐震化工事は、現場条件が建設時の完成図面と異なっていたことから、連絡管の布設位置等を再検討した上で施工を続け、令和7年度に完了する計画へと変更しました。							
【達成状況の分析及び課題】 計画していた2件の耐震化工事のうち1件が完了し、1件が施工中であることから、「未達成だが進展している」と評価しました。							
【今後の具体的取組】 印旛系1号調圧水槽耐震化工事の令和7年度の完成に向け、連絡管布設位置等の再検討結果を基に、適切な進捗管理を実施してまいります。							
計画	R3	R4	R5	R6	R7		
	印旛系2号調圧水槽耐震化工事設計委託の完了	印旛系2号調圧水槽耐震化工事の着手	印旛系1号調圧水槽耐震化工事の着手	印旛系2号調圧水槽耐震化工事の完了 印旛系1号調圧水槽耐震化工事の完了	—※		
	—	船橋給水場1号配水池耐震化工事の着手	船橋給水場1号配水池耐震化工事の完了	—			
実績	—	印旛系2号調圧水槽耐震化工事の着手 船橋給水場1号配水池耐震化工事の着手	印旛系1号調圧水槽耐震化工事の着手 船橋給水場1号配水池耐震化工事の完了	印旛系2号調圧水槽耐震化工事の完了	—		
	※ 第6回評価会議（R7.3.14）にて、進捗を踏まえ、令和7年度の計画を「印旛系1号調圧水槽耐震化工事の完了」に見直ししている。						

主な取組名 ② 管路の耐震化の推進

主な事業名		鋳鉄管更新工事（再掲）【給水課】										
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)								
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計						
28, 400, 000 (再掲)	27, 651, 566(再掲)	11, 156, 535(再掲)	38, 808, 101(再掲)	26, 342, 558(再掲)	10, 745, 161(再掲)	37, 087, 719(再掲)						
達成指標	(イ) 湾岸埋立地域の管路更新延長			達成状況	達成している							
【R6 年度事業計画】 東日本大震災の際に液状化が発生し、甚大な被害が生じたことを踏まえ、湾岸埋立地域については、大口径管路から分岐している主要な管路等を中心に耐震化を進めます。												
【事業の実施状況】 令和6年度の実績は、計画の 26.5km に対し、30.3km となりました。（目標に対する実績は 114%）												
								R3	R4	R5	R6	R7
							計画	26.5km /年	26.5km /年	26.5km /年	26.5km /年	26.5km /年
【達成状況の分析及び課題】 実績が計画を上回っていることから、「達成している」と評価しました。												
【今後の具体的取組】 引き続き、湾岸埋立地域の管路を優先して耐震化していきます。												

主な事業名		鑄鉄管更新工事（再掲）【給水課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
28,400,000（再掲）	27,651,566(再掲)	11,156,535(再掲)	38,808,101(再掲)	26,342,558(再掲)	10,745,161(再掲)	37,087,719(再掲)
達成指標	（ウ）最重要給水施設管路の更新延長			達成状況	未達成だが進展している	
【R6 年度事業計画】 重要給水施設管路のうち、最重要給水施設に位置づけた「災害拠点病院」及び「災害医療協力病院」並びに「防災拠点」に供給する管路の耐震化を進めます。						
【事業の実施状況】 令和6年度の実績は、計画の8.0kmに対し、5.5kmとなりました。 （目標に対する実績は69%）						
【達成状況の分析及び課題】 一部入札不調となったことや道路管理者等との協議に時間を要したことなどにより、進捗に遅れが生じている工事や、未着手となった工事があり、計画に対する達成実績は69%となりましたが、事業は進展していることから「未達成だが進展している」と評価しました。						
【今後の具体的取組】 入札不調への対策として、柔軟な工期設定が可能なフレックス工期契約制度の活用や、必要に応じて工事規模の見直しを行うとともに、予定通りに工事が進むよう、設計業務委託の段階から、道路管理者等との綿密な協議・調整を行うなど計画的に実施していきます。						

主な事業名		鑄鉄管更新工事（再掲）【給水課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
28, 400, 000(再掲)	27, 651, 566(再掲)	11, 156, 535(再掲)	38, 808, 101(再掲)	26, 342, 558(再掲)	10, 745, 161(再掲)	37, 087, 719(再掲)
達成指標	(エ) 小中口径管の更新延長（再掲）			達成状況	概ね達成している	
【R6 年度事業計画】 近い将来に発生が懸念される首都直下地震等の大規模地震に備え、湾岸埋立地域の管路や、病院・防災拠点等の重要給水施設への管路を優先するとともに、強度が低下するおそれや赤濁水の発生が懸念される管路等について更新します。						
【事業の実施状況】 令和6年度の実績は、計画の80km に対し、78.6km となりました。(目標に対する実績は、98%)						
【達成状況の分析及び課題】 一部入札不調となったことや道路管理者等との協議に時間を要したことなどにより、進捗に遅れが生じ、計画に対する達成実績は98%となっていることから「概ね達成している」と評価しました。						
【今後の具体的取組】 入札不調への対策として柔軟な工期設定が可能なフレックス工期契約制度の活用や工事の平準化、必要に応じて工事規模の見直しを行うとともに、道路管理者等との綿密な協議・調整を行うなど計画的に実施していきます。						

主な事業名		大口径管路更新工事（一抔栗山～船高線他）（再掲）【給水課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
3, 039, 090(再掲)	2, 197, 510(再掲)	1, 506, 691(再掲)	3, 704, 201(再掲)	2, 543, 927(再掲)	774, 736(再掲)	3, 318, 664(再掲)
達成指標	(オ) 大口径管路更新の実施（再掲）			達成状況	進展していない	
【R6 年度事業計画】						
ダクタイル鋳鉄管※よりも強度が低い高級鋳鉄管※を使用した大口径管路について、重要度及びバックアップの可否を評価基準とした優先順位を付けて更新を進めます。						
令和6年度は、一抔園生～登戸線、一抔船高～園生線、園生～小倉線、藤崎～袖ヶ浦団地線の4路線において、計8件の工事に着手します。						
※ダクタイル鋳鉄管：高級鋳鉄管より管体強度が高く、耐震性に優れている水道管で、現在、県営水道で主に使用している。						
※高級鋳鉄管：昭和5年から昭和46年頃まで製造された水道管で、ダクタイル鋳鉄管より管体強度が弱く、耐震性が低い。県営水道では、昭和40年頃まで布設し、現在でも一部に使用している。						
【事業の実施状況】						
令和6年度は、計画していた8件の工事のうち、園生～小倉線の1路線において1件の工事に着手しました。						
【達成状況の分析及び課題】						
工事着手を計画していた7件のうち、2件は応札者がおらず、入札不調となり未着手となりました。3件は試掘の結果、他企業管の占用位置が基本設計で調査した位置と異なっていることが判明し、実施設計に時間を要したため、発注を見合わせました。残りの2件は、別路線の更新に係る検討において、効率的な水運用や更新方法を検討する中で、工事区間の一部を統廃合できる可能性が生じたため、発注を見合わせました。						
以上の理由により、計画に対する実績は12.5%となったことから、「進展していない」と評価しました。						
【今後の具体的取組】						
工事未着手となった7件のうち、入札不調となった2件については、令和7年度中に再発注を予定しています。実施設計に時間を要している3件について、実施設計が完了した1件は、令和7年度に工事を発注する予定であり、それ以外の2件は、一部区間において施工方法やルートの見直しが必要なため、設計が完了次第、工事を発注します。残りの2件は、路線の統廃合等の検討を行い、設計が完了次第、工事を発注していきます。						

主な事業名		基幹管路の整備（第二木下～柏井導水管）（再掲）【計画課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
379, 284(再掲)	221, 615(再掲)	59, 899(再掲)	281, 514(再掲)	84, 367(再掲)	0(再掲)	84, 367(再掲)
達成指標	(カ) 基幹管路の整備の推進（再掲）			達成状況	達成している	
【R6 年度事業計画】 既設導水管を運用しながら代替管路を整備し、老朽化対策・耐震化を図ることで安定給水を確保することを目的として、第二木下～柏井導水管の整備を進めます。 令和6年度は、現在実施中である第6工区・第7工区の実施設計業務委託等の着実な進捗を図っていきます。 【事業の実施状況】 令和6年度は、各工区の実施設計業務委託等の進捗管理を行い、計画どおり、第6・7工区の実施設計業務委託を完了しました。 【達成状況の分析及び課題】 計画していた第6・7工区の実施設計業務委託の完了により、目標を「達成している」と評価しました。 【今後の具体的取組】 引き続き、第4工区の業務委託等の着実な進捗を図っていきます。						

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	実施設計業務委託の完了 (第3工区)	実施設計業務委託の完了 (第5工区)	実施設計業務委託の完了 (第8工区)	実施設計業務委託の完了 (第6工区・第7工区)	実施設計業務委託の完了 (第4工区) ※
実績	実施設計業務委託の着手 (第6工区・第7工区)	実施設計業務委託の完了 (第3工区・第5工区)	実施設計業務委託の完了 (第8工区)	実施設計業務委託の完了 (第6工区・第7工区)	

※ 第6回評価会議（R7.3.14）にて、進捗を踏まえ、令和7年度の計画を「地質調査業務委託の発注（第4工区）」に見直ししている。

主な取組名 ③ 停電・浸水対策等の強化

主な事業名		浄・給水場等の非常用自家発電設備、燃料用タンクの整備（再掲） 非常用自家発電設備用燃料の確保【浄水課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
14, 529, 831(※) (14, 517, 335 再掲)	13, 358, 359 (13, 345, 863 再掲)	2, 067, 494 (2, 067, 494 再掲)	15, 425, 853 (15, 413, 357 再掲)	6, 339, 841 (6, 327, 345 再掲)	8, 209, 564 (8, 209, 564 再掲)	14, 549, 405 (14, 536, 909 再掲)
達成指標	(キ) 自家発電設備の増強施設数（再掲）			達成状況	進展していない	
【R6 年度事業計画】 大規模な停電時においても、安定して水を供給できるように、浄・給水場における非常用自家発電設備の増強（72 時間対応へ）を実施します。 令和 6 年度は、木下取水場、柏井浄水場、姉崎分場、北習志野分場、妙典給水場、成田給水場、北船橋給水場、松戸給水場、沼南給水場、印旛取水場、幕張給水場、福増浄水場、高滝取水場、千葉分場、千葉配水場、大宮分場、船橋給水場における非常用自家発電設備の増強が完了します。						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	0 施設 /累計 (5 施設の 工事着手)	0 施設 /累計 (6 施設の 工事着手)	3 施設 /累計 (14 施設の 工事着手)	20 施設 /累計	—※	
実績	0 施設 /累計 (4 施設の 工事着手)	0 施設 /累計 (2 施設の 工事着手)	2 施設 /累計 (10 施設の 工事着手)	9 施設 /累計 (20 施設の 工事着手)	—	
※ 第 6 回評価会議（R7.3.14）にて、進捗を踏まえ、令和 7 年度までに「15 施設/累計」に計画を見直ししている。						
※一部再掲 浄・給水場等の非常用自家発電設備、燃料用タンクの整備（再掲） 14, 517, 335（千円）						
【事業の実施状況】 ちば野菊の里浄水場、菅田給水場、北総浄水場、福増浄水場、高滝取水場、北習志野分場、成田給水場、千葉分場及び大宮分場の 9 施設で自家発電設備の増強が完了しました。 また、20 施設すべてで増強工事に着手しました。						
【達成状況の分析及び課題】 北船橋給水場、妙典給水場、松戸給水場、印旛取水場、幕張給水場及び船橋給水場の 6 施設では、入札不調が生じた影響で、完了時期が遅れることとなりました。 木下取水場及び姉崎分場の 2 施設では地中障害物の撤去、千葉配水場では埋蔵文化財の調査、並びに柏井浄水場では発電機の製作工場における品質管理体制の不備に伴う、機器製作の一時中断により、工期を延長することとなりました。 沼南給水場では、発電機設置予定場所の建物強度について再検討を行った結果、場所を変更する必要が生じ、工期を延長することとなりました。 以上の 11 施設で令和 6 年度の完了が困難となったため、計画に対する実績は 20 施設中 9 施設の増強完了となり、45％であることから、「進展していない」と評価しました。						
【今後の具体的取組】 令和 6 年度に増強完了が困難となった 11 施設のうち、木下取水場、柏井浄水場、姉崎分場、北船橋給水場、千葉配水場及び船橋給水場の 6 施設においては令和 7 年度に増強完了する見込みであり、妙典給水場、松戸給水場、沼南給水場、印旛取水場及び幕張給水場の 5 施設では、工期を検討した結果増強完了が令和 8 年度以降となりました。これらについては、工事の進捗管理を適切に行い、早期に完了できるよう取り組んでまいります。						

主な事業名		計装設備の電源強化、大型土嚢等の設置、防水扉等の設置【浄水課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
-	-	-	-	-	-	-
達成指標	(ク) 計装設備の電源強化施設数及び浸水対策施設数			達成状況	-	
【R6 年度事業計画】 平成 30 年に発生した北海道胆振東部地震による大規模停電や令和元年房総半島台風による停電・浸水被害などの状況を踏まえ、非常用自家発電設備の強化及び浸水対策に取り組みました。 【事業の実施状況】 令和 4 年度で事業は完了しました。						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	3 施設 /累計	9 施設 /累計	—	—	—	
実績	3 施設 /累計	9 施設 /累計	—	—	—	

主要施策（3）危機管理体制の充実

主な取組名 ① 緊急時に備えた体制の充実

主な事業名		非常時対応訓練の実施【計画課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
66	66	0	66	21	0	21
達成指標	非常時対応訓練の実施 (ア) テーマ型訓練の実施 支援協力員との応急給水訓練の実施				達成状況	達成している
【R6 年度事業計画】						
「非常時対応訓練」については、1 回目として年度当初に新体制で、初動対応を確認する訓練を行い、2 回目として下半期に、初動対応から対策本部及び現地本部の立上げ、本部会議の運営、情報収集伝達、応急給水・応急復旧の計画作成等、震災対応の一連の訓練を行うことで、災害対応力の向上を図ります。						
なお、総務企画課と連携しながら、訓練内容の検討を行います。						
「テーマ型訓練」については、各所属が独自にテーマ（停電対応、応急給水等）を定めて実施します。						
「支援協力員との応急給水訓練」については、「千葉県企業局水道事業災害時支援協力員制度」に登録している支援協力員を対象として、地震発生時等に、迅速かつ効果的な活動が実施できるよう、応急給水訓練等を実施します。						
【事業の実施状況】						
「非常時対応訓練」については、5 月と 10 月に計 2 回の訓練を実施することにより、災害対応力の向上を図りました。						
「テーマ型訓練」については、給水車や仮設給水栓、折り畳み式給水タンクを活用した応急給水訓練の他、情報伝達訓練、自家発電設備の操作訓練等を計 126 回実施し、災害対応力の向上を図りました。						
「支援協力員との応急給水訓練」については、ちば野菊の里浄水場において給水車注水作業や、仮設給水栓の組立等、実践的な訓練を実施し、地震発生時等における支援協力体制を強化しました。						
【達成状況の分析及び課題】						
令和 6 年度における訓練の達成状況は、いずれも計画回数を達成しているため、「達成している」としました。						
【今後の具体的取組】						
令和 7 年度も非常時対応訓練の実施により、災害対応力を向上させるとともに、テーマ型訓練、支援協力員訓練による実践的な訓練に取り組むことで、緊急時に備えた体制を強化してまいります。						

		R3	R4	R5	R6	R7
計画	非常時対応訓練	2 回/年	2 回/年	2 回/年	2 回/年	2 回/年
	テーマ型訓練	112 回/年	112 回/年	112 回/年	112 回/年	112 回/年
	支援協力員訓練	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年
実績	非常時対応訓練	2 回/年	2 回/年	2 回/年	2 回/年	
	テーマ型訓練	129 回/年	120 回/年	121 回/年	126 回/年	
	支援協力員訓練	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年	

主な事業名		本局新庁舎の建設【財務課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
1, 030, 726	860, 030	690, 726	1, 550, 756	1, 544, 819	0	1, 544, 819
達成指標	(イ) 本局新庁舎（仮称）の建設			達成状況	達成している	
【R6 年度事業計画】 本局新庁舎の建設については、令和 7 年度の供用開始に向けて、令和 4 年度末に発注した建築、電気設備、空調設備及び衛生設備の各工事の着実な進捗を図っていきます。 【事業の実施状況】 建設工事中、当初予定していなかった地中障害物が発見され、その撤去などにより工期の延長を行いました。これに伴い、供用開始時期は令和 8 年度となりました。 建設工事は、受注者と定期的に会議を開催し、その中で進捗状況の報告を受け内容を確認するとともに、必要に応じて助言・指導を行うなど調整を図り、工事の適正な進捗管理を行いました。 【達成状況の分析及び課題】 当初予定していなかった地中障害物の撤去などにより工期の延長を行いましたが、定期的に開催している会議の中で進捗状況を確認するなど、適正な進捗管理を行っているため、「達成している」と評価しました。 【今後の具体的取組】 引き続き、受注者と定期的に会議を開催し、工事の進捗状況を確認し、建設工事の適正な進捗管理を行っていきます。						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	基本設計 の完了 実施設計 の着手	実施設計 の完了 建設工事 の着手	建設工事 の適正な 進捗管理	建設工事 の適正な 進捗管理	新庁舎の 供用開始※	
実績	基本設計 の完了 実 施 設 計 の着手	実施設計 の完了 建設工事 の着手	建 設 工 事 の 適 正 な 進捗管理	建 設 工 事 の 適 正 な 進捗管理		

※ 第 6 回評価会議（R7.3.14）にて、進捗を踏まえ、令和 7 年度の計画を「新庁舎の工事完了」に見直ししている。

主な取組名 ② 給水区域内11市等関係機関との連携強化

主な事業名		応急給水等連絡調整会議の定期的な開催【計画課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	(ウ) 応急給水等連絡調整会議の実施			達成状況		達成している
【R6 年度事業計画】 「給水区域内各市における応急給水等連絡調整会議」を開催し、各市との連絡調整及び情報交換等を行うとともに、令和元年房総半島台風等の教訓を踏まえた対応策に基づく役割分担等を再確認します。 【事業の実施状況】 給水区域内 11 市との「給水区域内各市における応急給水等連絡調整会議」を 5 月に開催することにより、相互の役割分担等を再確認し、連携強化を図りました。 【達成状況の分析及び課題】 連絡調整会議を実施したことから、「達成している」としました。 【今後の具体的取組】 引き続き給水区域内 11 市と「給水区域内各市における応急給水等連絡調整会議」を開催し、当局と 11 市の役割分担等を再確認することで、更なる連携強化を図っていきます。						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年	
実績	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年		

主な事業名		給水区域内各市との合同訓練の実施、給水区域内各市が開催する合同訓練への参加【計画課】																						
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)																				
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計																		
0	0	0	0	0	0	0																		
達成指標	(エ) 給水区域内各市との合同訓練の実施			達成状況		達成している																		
【R6 年度事業計画】 「給水区域内各市との合同訓練の実施」については、令和元年房総半島台風等の対応を教訓とし、県営水道給水区域内 11 市との連携強化を図るため、「給水区域内各市における応急給水等連絡調整会議」での意見交換を踏まえた迅速な情報共有や応急給水の適切な役割分担等に関する訓練を実施します。 「給水区域内各市が開催する合同訓練への参加」については、震災時に連携して迅速な応急活動が実施できるよう、給水区域内各市が開催する防災訓練に参加し、応急給水等の訓練を行います。 なお、達成指標は、「給水区域内各市との合同訓練の実施」を対象とします。 <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>計画</td><td>11 回/年</td><td>11 回/年</td><td>11 回/年</td><td>11 回/年</td><td>11 回/年</td></tr><tr><td>実績</td><td>11 回/年</td><td>11 回/年</td><td>11 回/年</td><td>11 回/年</td><td></td></tr></table>								R3	R4	R5	R6	R7	計画	11 回/年	11 回/年	11 回/年	11 回/年	11 回/年	実績	11 回/年	11 回/年	11 回/年	11 回/年	
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画	11 回/年	11 回/年	11 回/年	11 回/年	11 回/年																			
実績	11 回/年	11 回/年	11 回/年	11 回/年																				
【事業の実施状況】 「給水区域内各市との合同訓練の実施」については、迅速な情報共有や応急給水等の訓練を 7 月に 11 市と共に実施することにより、連携強化を図りました。 「給水区域内各市が開催する合同訓練への参加」については、習志野市総合防災訓練等に参加しました。 【達成状況の分析及び課題】 給水区域内各市との合同訓練を実施したことから、「達成している」としました。 【今後の具体的取組】 引き続き、給水区域内各市との合同訓練を通じて、迅速な情報共有や応急給水の適切な役割分担等を再確認することで、更なる連携強化を図っていきます。																								

《基本目標 2》「安全」な水の供給

主要施策（４）安全で安心な水づくり

主な取組名 ① 水源の監視・保全

主な事業名		水源の水質調査等の実施【浄水課】							
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)					
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計			
18, 231	18, 170	0	18, 170	16, 720	0	16, 720			
達成指標	(ア) 水源調査回数			達成状況	達成している				
【R6 年度事業計画】 当局の水道水源である江戸川、利根川、印旛沼、高滝ダム湖とそれらの主な流入河川及び手賀沼の計 34 か所について毎月水質調査を実施するとともに、必要に応じて臨時調査を実施します。					R3	R4	R5	R6	R7
				計画	390 回 以上/年	390 回 以上/年	390 回 以上/年	390 回 以上/年	390 回 以上/年
				実績	535 回/ 年	538 回/ 年	542 回/ 年	570 回/ 年	
【事業の実施状況】 水道水源等の定期的な水質調査を 390 回実施しました。 また、令和 6 年度は水道水源において、春期・夏期のかび臭物質濃度上昇や油の流出などの水質異常が発生したことから、臨時調査を 180 回実施しました。 水源調査回数は定期と臨時を合わせ 570 回となりました。									
【達成状況の分析及び課題】 定期調査に加え適宜臨時調査を実施できたことから、「達成している」と評価しました。その結果をもとに粉末活性炭の注入率を調整するなど適切な浄水処理を行うことができました。									
【今後の具体的取組】 引き続き、水道水源とそれらの主な流入河川等について定期的な水質調査を実施するとともに、水源での水質異常時には必要に応じて臨時調査を実施します。									

主な事業名		関係機関と連携した監視体制の確保、 印旛沼水質保全協議会をはじめとする各協議会等への参加【浄水課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	－			達成状況		－
【R6 年度事業計画】 関係機関と水源水質や事故情報の情報共有により、監視体制の確保を進めます。 印旛沼水質保全協議会をはじめとする各協議会へ参加し、水源の水質保全に努めます。 【事業の実施状況】 各協議会を通じて、水源河川等で水質事故が発生した場合の連絡体制を確保するとともに、国や関係自治体等に対して水源保全の推進に関する要望活動を行いました。 【今後の具体的取組】 引き続き水源の水質保全に向けて各協議会に参加するとともに、関係機関と連携し水源の監視体制を確保します。						

	R3	R4	R5	R6	R7
計画					
実績					

主な取組名 ② 高度浄水処理の導入

主な事業名		ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備事業(再掲)【計画課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
532,059 (再掲)	533,879 (再掲)	1,249,481 (再掲)	1,783,360 (再掲)	1,517,681 (再掲)	141,515 (再掲)	1,659,196 (再掲)
達成指標	(イ) ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備の推進(再掲)			達成状況	—	
【R6 年度事業計画】						
ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備事業については、これまでに施設工事や試運転を実施し、令和6年3月に稼働を開始しました。なお、令和6年度は、太陽光発電設備工事などの残工事を進めていきます。						
【事業の実施状況】						
令和6年度は、太陽光発電設備工事が完成しました。						
【今後の具体的取組】						
本事業は、令和5年度に施設を稼働したことから、主要施策である安定給水の確保について達成しました。						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	洗浄排水池築造工事の完成	洗浄排水池機械設備工事の完成	施設の稼働	—	—	
実績	洗浄排水池築造工事の完成	洗浄排水池機械設備工事の完成	施設の稼働	—	—	

主な取組名 ③ 水質管理の徹底

主な事業名		水安全計画の見直し【浄水課】							
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)					
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計			
0	0	0	0	0	0	0			
達成指標	(ウ) 水安全計画の見直しの実施			達成状況	達成している				
【R6 年度事業計画】 様々な化学物質等による水源水質の異常に対応する管理体制等を予め定めた水安全計画*について見直しを行い、発生が予測されるリスクへの対応を強化します。 ※水安全計画 水源から給水栓に至る全ての段階において、水道水質に悪影響を及ぼす恐れのある危害の原因を明確にし、危害原因を排除するため、重点的かつ継続的に監視を行うべき重要管理点（工程）をあらかじめ定め、管理することで、水の安全性を一層高いレベルで確保する水道システムの管理手法。 【事業の実施状況】 水安全計画の運用及び評価を行った結果、計画の修正が必要となる事態は発生しなかったため、統計データの時点修正等軽微な修正を実施しました。 【達成状況の分析及び課題】 水安全計画の見直しを実施したことから「達成している」と評価しました。水安全計画に基づき水質監視及び水質管理を行った結果、水道水質基準を超過する事態は発生しませんでした。 【今後の具体的取組】 引き続き、水安全計画を適切に運用し、運用に伴い課題等が生じた場合は必要な見直しを実施していきます。					R3	R4	R5	R6	R7
				計画	水安全計画の見直し	水安全計画の見直し	水安全計画の見直し	水質管理状況等を踏まえた見直し	水質管理状況等を踏まえた見直し
				実績	水安全計画の見直し	水安全計画の見直し	水安全計画の見直し	水質管理状況等を踏まえた見直し	

主な事業名		水道 G L P の認定の更新【浄水課】										
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)								
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計						
403	403	0	403	388	0	388						
達成指標	(エ) 水道 G L P の認定維持			達成状況	達成している							
【R6 年度事業計画】 水道 G L P※を適正に運用し、水質検査の信頼性を確保するとともに、水道 G L P の認定を更新します。 ※水道 GLP（水道水質検査優良試験所規範） 公益社団法人日本水道協会が認定する、水道事業体の水質検査部門及び登録検査機関を対象とした、水道水質検査結果の精度と信頼性を確保するための要求事項。 【事業の実施状況】 水道 G L P に基づき、水質センター職員に対する教育訓練や、精度管理、内部監査等の運用を適正に行うとともに、(公社)日本水道協会による水道 G L P の認定審査を受けた結果、技術的能力が適格であると評価され、認定を更新することができました。 【達成状況の分析及び課題】 水道 G L P を適正に運用し、認定を更新することができたことから「達成している」と評価しました。 【今後の具体的取組】 引き続き、水道 G L P を適正に運用し、運用に伴い課題等が生じた場合は必要な見直しを実施していきます。								R3	R4	R5	R6	R7
計画	水道 GLP の認定の維持・継続	水道 GLP の認定の維持・継続	水道 GLP の認定の維持・継続	水道 GLP の認定の更新	水道 GLP の認定の維持・継続							
実績	水道 GLP の認定の維持・継続	水道 GLP の認定の維持・継続	水道 GLP の認定の維持・継続	水道 GLP の認定の更新								

主な事業名		水質検査計画の見直し【浄水課】																							
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)																					
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計																			
0	0	0	0	0	0	0																			
達成指標	(オ) 水質検査計画の見直しの実施				達成状況		達成している																		
【R6 年度事業計画】 水質基準の改正等を踏まえた水質検査計画※の更新を行います。 ※水質検査計画 水質検査の項目・場所・頻度のほか、水源の水質状況や、浄水処理で問題となる項目や原因などを記載したもの。水道法施行規則第 15 条第 6 項において、水道事業者が策定することが義務付けられている。 <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>計画</td><td>水質検査計画の更新</td><td>水質検査計画の更新</td><td>水質検査計画の更新</td><td>水質検査計画の更新</td><td>水質検査計画の更新</td></tr><tr><td>実績</td><td>水質検査計画の更新</td><td>水質検査計画の更新</td><td>水質検査計画の更新</td><td>水質検査計画の更新</td><td></td></tr></table>									R3	R4	R5	R6	R7	計画	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	実績	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	
	R3	R4	R5	R6	R7																				
計画	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新																				
実績	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新																					
【事業の実施状況】 令和 7 年度の計画から新たに水質基準等に追加される項目はありませんでしたが、令和 8 年度から PFOS 及び PFOA が水質基準項目になることを見据えて、PFOS 及び PFOA の検査地点に給水場等を追加する等、必要な見直しを行い、水質検査計画を令和 7 年度版に更新しました。 【達成状況の分析及び課題】 水質検査計画の更新を行ったことから、「達成している」と評価しました。 【今後の具体的取組】 引き続き、水質基準の改正等の国の通知や対象物質の検出状況を踏まえ、毎年度必要な見直しを実施します。																									

主な事業名		水質検査機器の更新【浄水課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
119,454	118,369	0	118,369	100,356	0	100,356
達成指標	(カ) 水質検査機器の更新の実施			達成状況	達成している	
【R6 年度事業計画】 経年劣化等により検査精度を確保できなくなるおそれのある水質検査機器の更新等を行います。 【事業の実施状況】 33 台の水質検査機器を整備しました。 【達成状況の分析及び課題】 調達に関する事務を早期に実施した結果、計画どおり機器を整備することができたことから、「達成している」と評価しました。 【今後の具体的取組】 計画どおりに整備できるよう、調達に関する事務を早期に実施していきます。						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	水質検査 機器 21 台の整備 (更新・ 新規)	水質検査 機器 31 台の整備 (更新・ 新規)	水質検査 機器 30 台の整備 (更新・ 新規)	水質検査 機器 33 台の整備 (更新・ 新規)	水質検査 機器 23 台の整備 (更新・ 新規)	
実績	水質検査 機器 13 台の整備 (更新・ 新規)	水質検査 機器 39 台の整備 (更新・ 新規)	水質検査 機器 30 台の整備 (更新・ 新規)	水質検査 機器 33 台の整備 (更新・ 新規)		

主な事業名		水質自動監視装置の更新【浄水課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
-	-	-	-	-	-	-
達成指標	(キ) 水質自動監視装置の更新の実施			達成状況		-
【R6 年度事業計画】 R5 年度に水質自動監視装置※(38台)の更新を完了しました。						
※水質自動監視装置 日常の水質監視業務に加えて、濁り水の発生などの水質の変化を常時把握し、異常時に速やかに対応するため、給水区域の管路末端に設置している。						
【事業の実施状況】 令和5年度に水質自動監視装置38台の更新工事を完了しました。						

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	-	水質自動監視装置 38台の更新着手	水質自動監視装置 38台の更新完了	-	-
実績	-	水質自動監視装置 38台の更新着手	水質自動監視装置 38台の更新完了	-	-

主な事業名		送・配水管の計画的な洗浄【給水課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
227,926	227,926	0	227,926	203,665	0	203,665
達成指標	(ク) 送配水管の計画洗浄延長			達成状況	達成している	
【R6 年度事業計画】 長い管路を使って送られる水道水の水質を適正に維持するため、送・配水管の洗浄を毎年 1,000km 実施します。						
【事業の実施状況】 令和 6 年度の実績は、計画 1,000km に対し、1,259km となりました。(目標に対する実績は、126%)						
【達成状況の分析及び課題】 送・配水管の計画的な洗浄について、計画を上回って行ったことから「達成している」と評価しました。						
【今後の具体的取組】 引き続き、水道水の水質を適正に維持するため、送・配水管の計画的な洗浄を実施していきます。						

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	1,000km	1,000km	1,000km	1,000km	1,000km
	/年	/年	/年	/年	/年
実績	1,381km	1,382km	1,378km	1,259km	
	/年	/年	/年	/年	

主な事業名		貯水槽水道の適正管理と直結給水の促進【給水課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
39, 297	39, 297	0	39, 297	28, 223	0	28, 223
達成指標	(ケ) 貯水槽水道の適正管理啓発実施率、直結給水率			達成状況	概ね達成している	
【R6 年度事業計画】						
集合住宅やホテル、病院等に見られる貯水槽水道においては、貯水槽施設の適正管理が重要であることから、引き続き、巡回サービス（啓発及び希望者への点検等）により貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水化を促進し、安全でおいしい水の普及拡大に努めていきます。						
令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 か年の対象貯水槽約 12, 000 箇所のうち、令和 6 年度は約 2, 300 箇所の貯水槽を対象として、適正管理についての啓発活動を実施するとともに、直結給水化を促進します。						
【事業の実施状況】						
啓発実施率は計画 81%に対し、実績は 84%となりました。直結給水率は計画 77. 1%に対し、実績は 77. 0%となりました。						
【達成状況の分析及び課題】						
啓発実施率に関して、計画を達成しています。直結給水率に関して、目標達成には至りませんでしたが、計画に対する達成実績は 99. 8%とほぼ達成しています。以上より、事業は進展していることから「概ね達成している」と評価しました。						
【今後の具体的取組】						
引き続き、巡回サービスにより貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水化を促進し、安全でおいしい水の普及拡大に努めていきます。						

		R3	R4	R5	R6	R7
計画	啓発	23%	42%	61%	81%	100%
	実施率	(累計)	(累計)	(累計)	(累計)	(累計)
	直結給水率	75. 4%	76. 0%	76. 5%	77. 1%	77. 6%
実績	啓発	23%	43%	64%	84%	
	実施率	(累計)	(累計)	(累計)	(累計)	
	直結給水率	75. 7%	76. 2%	76. 6%	77. 0%	

主要施策（5）おいしい水の供給

主な取組名 ① おいしい水の技術的な取組

主な事業名		残留塩素低減化試験の実施、塩素多点注入方式の導入【計画課】										
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)								
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計						
23,051	14,212	0	14,212	14,212	0	14,212						
達成指標	(ア) 残留塩素の低減化試験等の実施				達成状況	達成している						
【R6 年度事業計画】 水道水の安全性を確保しながら、水道水のおいしさを損なう原因となる残留塩素を低減するための試験を実施します。 【事業の実施状況】 栗山給水場及び船橋給水場の配水区域で残留塩素低減化試験を実施しました。 令和6年度の試験結果を受け、令和7年度から冬期及び春秋期における配水残留塩素濃度管理目標値を、栗山給水場で0.10mg/L、船橋給水場高区系で0.05mg/L低減しました。 【達成状況の分析及び課題】 残留塩素低減化試験を計画どおり実施したため、「達成している」と評価しました。 【今後の具体的取組】 お客様に安全でおいしい水をお届けするため、引き続き残留塩素の低減に向けた取組を推進します。												
								R3	R4	R5	R6	R7
							計画	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施
実績	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施								

主な事業名		送・配水管の計画的な洗浄（再掲）【給水課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
227,926(再掲)	227,926(再掲)	0(再掲)	227,926(再掲)	203,665(再掲)	0(再掲)	203,665(再掲)
達成指標	(イ) 送配水管の計画洗浄延長（再掲）			達成状況	達成している	
【R6 年度事業計画】 長い管路を使って送られる水道水の水質を適正に維持するため、送・配水管の洗浄を毎年 1,000km 実施します。						
【事業の実施状況】 令和 6 年度の実績は、計画 1,000km に対し、1,259km となりました。（目標に対する実績は、126%）						
【達成状況の分析及び課題】 送・配水管の計画的な洗浄について、計画を上回って行ったことから「達成している」と評価しました。						
【今後の具体的取組】 引き続き、水道水の水質を適正に維持するため、送・配水管の計画的な洗浄を実施していきます。						

主な事業名		貯水槽水道の適正管理と直結給水の促進（再掲）【給水課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
39, 297(再掲)	39, 297(再掲)	0(再掲)	39, 297(再掲)	28, 223(再掲)	0(再掲)	28, 223(再掲)
達成指標	(ウ) 貯水槽水道の適正管理啓発実施率、直結給水率（再掲）			達成状況	概ね達成している	
【R6 年度事業計画】						
集合住宅やホテル、病院等に見られる貯水槽水道においては、貯水槽施設の適正管理が重要であることから、引き続き、巡回サービス（啓発及び希望者への点検等）により貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水化を促進し、安全でおいしい水の普及拡大に努めていきます。						
令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 か年の対象貯水槽約 12, 000 箇所のうち、令和 6 年度は約 2, 300 箇所の貯水槽を対象として、適正管理についての啓発活動を実施するとともに、直結給水化を促進します。						
計画	啓発 実施率	23% (累計)	42% (累計)	61% (累計)	81% (累計)	100% (累計)
	直結 給水率	75. 4%	76. 0%	76. 5%	77. 1%	77. 6%
実績	啓発 実施率	23% (累計)	43% (累計)	64% (累計)	84% (累計)	
	直結 給水率	75. 7%	76. 2%	76. 6%	77. 0%	
【事業の実施状況】						
啓発実施率は計画 81%に対し、実績は 84%となりました。						
直結給水率は計画 77. 1%に対し、実績は 77. 0%となりました。						
【達成状況の分析及び課題】						
啓発実施率に関して、計画を達成しています。						
直結給水率に関して、目標達成には至りませんでしたが、計画に対する達成実績は 99. 8%とほぼ達成しています。						
以上より、事業は進展していることから「概ね達成している」と評価しました。						
【今後の具体的取組】						
引き続き、巡回サービスにより貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水化を促進し、安全でおいしい水の普及拡大に努めていきます。						

主な取組名 ② おいしい水のお客様との取組

主な事業名	水道出前講座の開催、オフィシャルサイトの更新【計画課】										
R6 年度予算額(千円)					R6 年度決算額等(千円)						
R6 当初予算		R6 最終予算		R5→R6 繰越	計		決算額		R6→R7 繰越		計
8,472		8,371		0	8,371		7,988		0		7,988
達成指標		(エ) イベント等 P R 活動の実施						達成状況		達成している	
【R6 年度事業計画】											
小学校などに出向いて、紙芝居や浄水処理実験など通じて安全でおいしい水を PR する「水道出前講座」を開催します。											
水のおいしいクイズや水質検査体験募集などについて、おいしい水づくりオフィシャルサイトに掲載し、お客様に情報を発信し続けます。											
【事業の実施状況】											
水道出前講座は 34 回開催し、2,271 人の方に受講いただきました。											
オフィシャルサイトにて水のおいしいクイズを2カ月に1回出題するとともに、ポタリちゃんの水道講座の動画を掲載するなど、水道水の安全性やおいしさをお客様に理解していただけるよう積極的な広報を心掛けました。また、水質検査体験などの募集案内を掲載し、お客様に参加いただけるよう PR しました。											
【達成状況の分析及び課題】											
水道出前講座とオフィシャルサイトの更新を計画どおり実施したため、「達成している」と評価しました。											
【今後の具体的取組】											
安全でおいしい水を PR する水道出前講座を継続するとともに、お客様に水道水の安全性やおいしさについて理解していただけるようオフィシャルサイトの充実を図っていきます。											

主な事業名		水質検査体験の実施、おいしい水検定の実施、おいしい水懇話会の開催【計画課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
1, 325	1, 224	0	1, 224	871	0	871
達成指標	(オ) 水質検査体験/おいしい水検定/おいしい水懇話会 実施・開催回数			達成状況	達成している	
【R6 年度事業計画】						
ご応募いただいたお客様に簡易水質検査キットを送付し、お客様ご自身でお客様宅の水道水の水質検査を実施し、測定結果や水道水のアンケートにお答えいただく「水質検査体験」を実施します。						
ご応募いただいたお客様に、オフィシャルサイトを通じて、安全でおいしい水道水に関する問題を解いていただくことで、水道水の理解を深めていただく「おいしい水検定」を実施します。						
安全でおいしい水づくりについて、客観的なご意見やご要望を得るため、お客様や学識経験者で構成される「おいしい水懇話会」を開催します。						
計画	水質検査体験	R3	R4	R5	R6	R7
	おいしい水検定	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	おいしい水懇話会	2 回/年	2 回/年	2 回/年	2 回/年	2 回/年
実績	水質検査体験	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年	
	おいしい水検定	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年	
	おいしい水懇話会	2 回/年	2 回/年	2 回/年	2 回/年	
【事業の実施状況】						
「水質検査体験」では 331 名、「おいしい水検定」では 378 名のお客様に参加いただき、水道水の安全性やおいしい水づくりへの取組等について理解を深めていただきました。						
また、「おいしい水懇話会」を 8 月と 1 月に開催し、安全でおいしい水づくりの取組について意見を頂きました。						
【達成状況の分析及び課題】						
水質検査体験、おいしい水検定、おいしい水懇話会を計画どおり実施したため、「達成している」と評価しました。						
【今後の具体的取組】						
今後も、「水質検査体験」、「おいしい水検定」など水道水についての理解を深めていただく取組を継続します。また「おいしい水懇話会」等を通じて、お客様からご意見・ご要望などを頂きながら、「安全・おいしい水プロジェクト 2021-2025」を推進していきます。						

《基本目標 3》お客様からの「信頼」の確保

主要施策（6）お客様サービスの向上

主な取組名 ① 支払方法の多様化や手続き等のオンライン化等

主な事業名		支払方法の多様化、手続き、問い合わせ・御相談のオンライン化等【業務振興課】																						
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)																				
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計																		
1, 244, 201	1, 112, 768	0	1, 112, 768	1, 105, 912	0	1, 105, 912																		
達成指標	(ア) 支払方法の多様化及び手続き、問い合わせ・御相談等のオンライン化の実施状況			達成状況	達成している																			
【R6 年度事業計画】 「千葉県営水道 ICT 等を活用したお客様サービス業務改善方針」に基づく取組として、納期限が過ぎた水道料金等を、水道事務所等の支払い窓口に出向くことなく、コンビニエンスストアで支払いが出来るサービスを一部の地域で導入します。 なお、対象の地域は今後拡大していく予定です。 また、令和7年度の新受付システム稼働に向け、システム開発や水道料金システムの改修等を進めます。																								
<table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>計画</td><td>改善方針策定</td><td>クレジットカード払い導入</td><td>口座振替申込み Web 受付導入</td><td>コンビニ端末を利用した支払い手段導入</td><td>新受付システムの稼働</td></tr><tr><td>実績</td><td>改善方針策定</td><td>クレジットカード払い導入</td><td>口座振替申込み Web 受付導入</td><td>コンビニ端末を利用した支払い手段導入</td><td></td></tr></table>								R3	R4	R5	R6	R7	計画	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込み Web 受付導入	コンビニ端末を利用した支払い手段導入	新受付システムの稼働	実績	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込み Web 受付導入	コンビニ端末を利用した支払い手段導入	
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込み Web 受付導入	コンビニ端末を利用した支払い手段導入	新受付システムの稼働																			
実績	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込み Web 受付導入	コンビニ端末を利用した支払い手段導入																				
【事業の実施状況】 令和6年5月から納期限が過ぎた水道料金等を、水道事務所等の支払い窓口に出向くことなく、コンビニエンスストアで支払いが出来るサービスを一部の地域で導入しました。また、新受付システムの稼働に向けてシステム開発、水道料金システム改修を進めました。																								
【達成状況の分析及び課題】 令和6年度においては、事業計画に掲げた項目について実施したことから「達成している」と評価しました。																								
【今後の具体的取組】 令和8年1月の新受付システム稼働に向け、更に開発・改修等を進めてまいります。																								

主な取組名 ② 「お客様の声」を活かした事業運営（広報・広聴の充実）

主な事業名		アンケート調査の実施【業務振興課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
2,834	1,740	0	1,740	1,594	0	1,594
達成指標	(イ) アンケート情報収集割合			達成状況	達成している	
【R6 年度事業計画】 給水人口 1,000 人あたりの、1 年間に実施したアンケート調査への回答人数の割合（＝情報収集割合）が所定の数を上回ることを計画の目標としています。 これを達成するため、県営水道利用者から選出した 600 名のモニターに対してインターネット上で年 4 回のアンケート調査を行うほか、まちかど水道街頭 PR のイベント来場者や浄水場見学会等の参加者に対し、アンケート調査を実施します。						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	1.87 人/ 千人 (年)	1.87 人/ 千人 (年)	1.87 人/ 千人 (年)	1.87 人/ 千人 (年)	1.87 人/ 千人 (年)	
実績	0.91 人/ 千人 (年)	0.94 人/ 千人 (年)	1.95 人/ 千人 (年)	2.60 人/ 千人 (年)		
【事業の実施状況】 インターネットモニターアンケート（4 回）、 イベントアンケート（12 回）及び県水クイズアンケート（4 回）を実施しました。						
【達成状況の分析及び課題】 ・インターネットモニターアンケート 2,108 名分 ・イベントアンケート 2,243 名分 ・県水クイズアンケート（令和 6 年度から新規で実施） 3,655 名分 合計 8,006 名分のアンケートを収集したことにより、情報収集割合が「2.60 人/千人」となったことから、「達成している」と評価しました。（8,006 名分÷3,082,737 人（給水人口）×1,000≒2.60）						
【今後の具体的取組】 令和 6 年度と同様に、インターネットモニターに対するアンケート調査及びイベントアンケート・県水クイズアンケートを実施することで、お客様の声を積極的に収集します。						

主な事業名		「お客様の声」の集計・分析及び各所属へのフィードバック【業務振興課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	(ウ) 業務改善数			達成状況		達成している
【R6 年度事業計画】 広聴相談窓口などを通じて寄せられる様々な「お客様の声」を迅速かつ的確に集計・分析し、速やかに関係部門にフィードバックして活用することにより、「お客様の声」を事業運営に役立てていきます。 また、職員自ら発案することによっても、お客様の満足度を向上できるよう、現在の業務のやり方を改善していきます。 【事業の実施状況】 - 県営水道トップページの改修 - 県水だよりに掲載する情報（問合せ窓口）の見直し - お客様の御意見を基にした特集記事の掲載（県水だより 1 月号） - 行政文書複写手数料の収受体制の見直し（水道事務所以外の所属でのつり銭の交付） - 新たな調査広聴の導入（県水だよりの読者を対象としたアンケートの実施） 【達成状況の分析及び課題】 改善数が計画に掲げた目標に達していることから「達成している」と評価しました。 【今後の具体的取組】 今後もお客様の声を事業運営に役立てていくとともに、職員による発案等も活用し、業務改善を行っていきます。						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	5 業務 /年	5 業務 /年	5 業務 /年	5 業務 /年	5 業務 /年	
実績	5 業務 /年	5 業務 /年	5 業務 /年	5 業務 /年		

主な事業名		新たな広聴手段の検討【業務振興課】					
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)			
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計	
0	0	0	0	0	0	0	
達成指標	(エ) 新たな広聴手段の検討と実施			達成状況	達成している		
【R6 年度事業計画】 お客様の視点に立った水道事業の運営のためには、お客様の求めていることを的確に把握することが不可欠であることから、現在の広聴相談窓口（県水お客様センターや水道事務所での電話受付、県庁HPでのメール受付等）及び各種アンケート調査に加えて、時代の流れに即した新たな広聴手段を検討します。 【事業の実施状況】 令和7年度稼働予定の「マイポータル（お客様専用ページ）」内において、「トップページへのお知らせ掲載（リンク掲載）」が可能であることを確認しました。 このため、アンケートフォームは「ちば電子申請サービス」等の外部ページで公開し、マイポータルはお客様への告知やフォームへの誘導に活用することとしました。 【今後の具体的取組】 マイポータルの稼働開始までにアンケートフォームを作成します。 また、マイポータル機能を利用するお客様にとってアンケートの回答は本来の目的ではないことから、設問は事業運営に活用できることを前提として、お客様が気軽に回答できるものとなるよう検討します。							
	R3	R4	R5	R6	R7		
計画				マイポータルなどを活用した新たな広聴手段の設計	マイポータルなどを活用した新たな広聴手段の実施		
実績				マイポータルの活用方法の検討			

主な事業名		県水だよりやホームページの内容充実、各種媒体（新聞、テレビ、ラジオ、SNS など）を用いた広報【業務振興課・総務企画課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
46, 949	44, 949	0	44, 949	41, 269	0	41, 269
達成指標	(オ) 広報活動の改善状況			達成状況	達成している	
【R6 年度事業計画】 広報紙「県水だより」について、各所属の意見を取りまとめ、その時に発信すべき情報を掲載するとともに、お客様の要望を踏まえた記事の掲載や、写真を使用した紙面作りなどの創意工夫を行い、内容の充実を図ります。 千葉県営水道ホームページについて、見出し項目の整理やコンテンツの見直しを行い、わかりやすいホームページ作りに取り組みます。 県公式 SNS を活用して、当局の事業やイベント等の情報を積極的に発信するとともに、新聞、テレビ、ラジオなど各種広報媒体を効果的に組み合わせた広報活動を実施します。 また、令和 5 年度における県営水道の事業概要と関係資料を取りまとめた「水道事業年報」や、環境施策の取組と成果について取りまとめた「環境報告書」などを作成し、水道事業に対するお客様のご理解とご協力を得ることを目指します。						
計画	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善
実績	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	「県水だより」「ホームページ」のわかりやすさの改善、「公式 X」の県広報 X との統合	「県水だより」「ホームページ」のわかりやすさの改善、お客様の声を基にした情報の発信		
【事業の実施状況】 ・「県水だより」は、掲載記事についてわかりやすい文章表現になるよう努めたほか、紙面づくりの創意工夫を行い、計 4 回発行しました。また、お客様から高い関心が寄せられていた「水道の水質（PFAS 等）」に関する特集記事を掲載するなど、お客様の声を基にした情報を提供しました。 ・「ホームページ」においては、見やすいページ構成となるよう、バナーやアイコン、イラスト、写真を用いるとともに、文章表現やレイアウトの見直しによりアクセシビリティの向上を図ったほか、リンク切れの対応を実施しました。 ・「県公式 SNS（千葉県広報 X）」においては、広報事業に関する情報を中心に様々な情報を発信したほか、給水区域内で発生した漏水に関する情報も発信しました。 ・お客様参加型の広報イベントとして、「浄水場見学会（水道週間 86 名、夏休み 45 名、小学校社会科見学 38 回/計 3, 558 名）」や「桜の季節見学会（栗山浄水場 463 名）」、「水道街頭 PR（7 か所/計 2, 150 名）」などを実施しました。 ・「水道事業年報」においては、冊子の作成、配布を行ったほか、局ホームページ上で公開しました。 ・「環境報告書」においては、ホームページでの公表を実施しました。						
【達成状況の分析及び課題】 お客様のご意見を踏まえ、「県水だより」及び「ホームページ」の改善を継続して実施するとともに、各種広報媒体を用いてお客様の声を基にした情報発信を行ったことから「達成している」と評価しました。						
【今後の具体的取組】 令和 6 年度の調査広聴において、「県水だより」に対しては「興味のある記事が少ない」、「ホームページ」に対しては「目的のページが見つけづらい」「リンクが多い」等のご意見が寄せられたことから、今後も継続して改善を進めるとともに、当局が発信したい情報に加えて、お客様の興味・関心の高い情報を発信することができるよう努めます。						

主な事業名		災害時における適切な情報発信【業務振興課】																						
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)																				
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計																		
0	0	0	0	0	0	0																		
達成指標	—			達成状況	—																			
【R6 年度事業計画】 災害が発生した場合、「企業局水道事業震災対策基本計画」等に基づき、必要に応じて、新聞、テレビ、ラジオ等のマスコミへの情報提供や、ホームページへの掲載等による広報活動を行うと同時に、住民からの情報提供や問い合わせ等に対し、適切な広聴活動を行います。 【事業の実施状況】 給水区域内において漏水等が発生した際に、千葉県営水道ホームページ内「緊急情報ページ」や「千葉県広報 X（旧 Twitter）」を活用した情報提供を行いました。また、県水だより、新聞では防災の日（9 月 1 日）に合わせて防災に関する情報発信を行ったほか、ホームページ上では応急給水拠点や水の備蓄など、緊急時に役立つ情報を常時掲載しています。 【今後の具体的取組】 引き続き「ホームページ」や「千葉県広報 X」の活用を進めるとともに、災害の発生時には関係課と密接に連携し、速やかな情報提供を行います。 <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>計画</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td>実績</td><td colspan="5"></td></tr></table>								R3	R4	R5	R6	R7	計画						実績					
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画																								
実績																								

主要施策（7）大規模事業体の責務と社会貢献

主な取組名 ① 県内水道の統合・広域連携

主な事業名		九十九里・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道との統合に向けた協議、 県営水道給水地域の水道事業の在り方に関する協議【総務企画課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	—			達成状況	—	
【R6 年度事業計画】 県（知事部局）が推進する九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道との統合について、引き続き関係機関と連携しながら、統合に向けた協議を進めます。 県（知事部局）を中心に検討している県営水道給水地域の水道事業の在り方について、引き続き当該地域の水道事業体等と連携しながら、検討を進めます。 【事業の実施状況】 九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道との統合については、令和4年4月に設置された「九十九里・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合協議会」に当局も参画しており、令和6年度末までに同会議が11回開催されました。令和6年12月に開催された第11回統合協議会において、統合後の事業運営の指針となる「統合基本計画」及び統合にあたり特に重要な事項を記載した「統合基本協定」（案）が承認され、令和7年1月には千葉県、千葉県企業局、関係市町村等の関係者の間で「統合基本協定」が締結されたところです。 県営水道給水地域の水道事業の在り方については、令和6年度に会議の開催等はありませんでした。 【今後の具体的取組】 九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道との統合については、令和8年4月の統合に向けて、必要な準備を進めてまいります。 県営水道給水地域の水道事業の在り方については、引き続き、県（知事部局）を中心に当該地域の水道事業体等と連携しながら、「千葉県水道広域化推進プラン」における今後の広域化に係る推進方針に基づき検討を進めてまいります。						

主な取組名 ② 環境負荷の低減に向けた取組

主な事業名		水運用の効率化、マイクロ水力発電設備、太陽光発電設備の安定的な運用【浄水課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
40, 153	37, 719	0	37, 719	34, 375	0	34, 375
達成指標	(ア) 再生可能エネルギー発電設備活用による発電量			達成状況	概ね達成している	
【R6 年度事業計画】 配水量の少なくなる夜間における給水ポンプ運転停止等による水運用の効率化や、幕張給水場等に導入したマイクロ水力発電設備、ちば野菊の里浄水場に導入した太陽光発電設備の安定的な運用に取り組むことで、環境負荷の低減を図るとともに、電力消費量の削減を目指します。 【事業の実施状況】 マイクロ水力発電設備は、計画発電量 4, 129 千 kWh に対し実績発電量 4, 110 千 kWh、太陽光発電設備は、ちば野菊の里浄水場における増設を見込み、計画発電量 200 千 kWh としたところ、実績発電量 84 千 kWh でした。両者を合わせた再生可能エネルギー発電設備は、計画発電量 4, 329 千 kWh に対し、実績発電量 4, 194 千 kWh となりました。 【達成状況の分析及び課題】 実績発電量が計画を下回った理由は、マイクロ水力発電設備においては、発電機 4 台のうち 1 台に故障が発生したことによるものです。太陽光発電設備においては、増設した設備の接続に必要な電力会社との契約締結に時間を要したこと等から、発電開始が令和 7 年 3 月に遅れたためです。実績発電量は計画発電量の 9 7 % となったため「概ね達成している」としました。 【今後の具体的取組】 マイクロ水力発電設備については、故障した発電機の早期復旧を図るとともに、太陽光発電設備については、適切な維持管理により安定的な運用に取組み、令和 7 年度の計画発電量の達成を目指してまいります。						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	4, 200 千 kWh 以上	4, 200 千 kWh 以上	4, 056 千 kWh 以上	4, 329 千 kWh 以上	4, 329 千 kWh 以上	
実績	4, 526 千 kWh	4, 499 千 kWh	4, 609 千 kWh	4, 194 千 kWh		

主な事業名		資源リサイクルの実施【計画課・浄水課】								
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)						
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計				
523, 830	413, 328	0	413, 328	307, 792	0	307, 792				
達成指標	(イ) 浄水発生土の再資源化率【浄水課】 再利用率可能な建設発生土・建設副産物の再資源化率【計画課】			達成状況	達成している					
【R6 年度事業計画】 浄水処理工程において発生する浄水発生土については、セメント原料等として再資源化します。 管路更新工事等において発生する建設発生土については、条件に適合するものは埋め戻し用土として再資源化していきます。 管路更新工事等において発生するアスファルト塊及びコンクリート塊については、舗装材等として、再資源化していきます。 【事業の実施状況】 浄水発生土は、17, 856 トンを全量セメント原料として再資源化しました。 建設発生土については、湾岸埋立地域等で発生する含水率が高く再資源化が困難なものを除いた 122, 434 m³を全量埋め戻し用土として再資源化しました。 建設副産物（アスファルト塊及びコンクリート塊）については、99, 719 トンを全量舗装材等として再資源化しました。 【達成状況の分析及び課題】 計画通り再資源化を実施したことから、「達成している」と評価しました。 【今後の具体的取組】 浄水発生土については、セメント原料等として引き続き全量を再資源化していきます。 管路更新工事等において発生する建設発生土については、再資源化の条件に適合するものは埋め戻し用土として利用するとともに、アスファルト等の舗装材及びコンクリート塊については、舗装材等として引き続き再資源化していきます。						R3	R4	R5	R6	R7
				計画	浄水発生土	100%	100%	100%	100%	100%
					建設発生土	100%	100%	100%	100%	100%
					建設副産物	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上
				実績	浄水発生土	100%	100%	100%	100%	
					建設発生土	100%	100%	100%	100%	
					建設副産物	100%	100%	100%	100%	

主な取組名 ③ 国際貢献及び他事業体への技術支援

主な事業名		開発途上国への技術支援【計画課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	(ウ) 海外水道事業体への技術支援			達成状況	達成している	
【R6 年度事業計画】 J I C A の要請を受け平成 2 4 年度から行っている東ティモール民主共和国への技術支援や、海外水道事業の研修生を対象とした研修への協力等を実施します。 【事業の実施状況】 J I C A からの要請を受け、令和 4 年 12 月から 2 年間の任期で職員 1 名を東ティモール民主共和国に長期派遣し、給水改善に向けた技術支援を行いました。 また、J I C A が主催している海外水道事業の研修生を対象とした研修では、講師の派遣や、当局水質センターに研修生を受け入れ、施設見学及び実習等を行いました。 【達成状況の分析及び課題】 職員の派遣による東ティモール民主共和国への技術支援を行ったこと、また、海外水道事業の研修生を対象とした研修で講師派遣や当局施設の見学等の協力を行ったことから、評価を「達成している」としました。 【今後の具体的取組】 引き続き、J I C A が主催している海外水道事業の研修生を対象とした研修に協力し、開発途上国への技術支援を実施していきます。						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	技術支援 の実施	技術支援 の実施	技術支援 の実施	技術支援 の実施	技術支援 の実施	
実績	技術支援 の実施	技術支援 の実施	技術支援 の実施	技術支援 の実施		

主な事業名		水道技術研修の開放による技術支援【計画課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
147	147	0	147	29	0	29
達成指標	(エ) 県内水道事業体へ開放する研修講座数			達成状況	達成している	
【R6 年度事業計画】 千葉県企業局が行っている水道技術研修について、引き続き 当局主催の 4 講座を県内の全ての水道事業体及び用水供給事業 体へ開放し、技術向上を支援します。 【事業の実施状況】 当局主催の水道技術研修のうち 4 講座を、県内全ての 43 事業 体に開放し、29 事業体から延べ 110 名が参加しました。 開放した 4 講座は、「送配水管工事研修Ⅰ（工事の基礎）」、「浄 水処理技術研修」、「水質管理研修」及び「技術講座研修（能登半 島地震対応）」です。 【達成状況の分析及び課題】 当局主催の水道技術研修を 4 講座開放し、県内水道事業体等の技術向上を支援したことから、「達成している」と評価 しました。 【今後の具体的取組】 引き続き、県内全ての水道事業体及び用水供給事業体に、当局が行っている水道技術研修（4 講座）を開放し、技術向 上を支援します。						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	4 講座 /年	4 講座 /年	4 講座 /年	4 講座 /年	4 講座 /年	
	3 講座 /年	4 講座 /年	5 講座 /年	4 講座 /年		

主要施策（8）運営基盤の強化

主な取組名 ① 職員の育成・確保及び能力開発

主な事業名		水道技術者を育成するための技術研修の実施【計画課】							
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)					
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計			
9,845 (147 再掲)※	6,746 (147 再掲)	0 (0 再掲)	6,746 (147 再掲)	6,628 (29 再掲)	0 (0 再掲)	6,628 (29 再掲)			
達成指標	(ア) 技術研修等講座数			達成状況	達成している				
【R6 年度事業計画】 「実践的な技術研修の実施」による技術継承の推進を図るため、千葉県企業局水道技術研修の各講座や、体験を通じて技術を習得する体験型技術研修を実施します。 ※ 一部再掲 水道技術研修の開放による技術支援 147（千円） 【事業の実施状況】 水道技術研修計画（第4次）に基づき、基礎研修 11 講座、実務研修 11 講座、体験型技術研修 4 講座の計 26 講座を実施し、延べ 509 名が受講しました。 【達成状況の分析及び課題】 水道技術研修計画（第4次）に基づき、全ての講座を実施したことに加え、実務研修として「自家発電設備増強工事見学」等の研修を実施したことにより、目標の 22 講座を上回る 26 講座を実施したことから、「達成している」と評価しました。 【今後の具体的取組】 引き続き、水道事業の運営に必要な専門的な知識・経験を有する技術職員の継続的な育成のため、実践的な研修を実施し、技術の継承と技術職員のレベルアップに取り組みます。					R3	R4	R5	R6	R7
				計画	22 講座 /年	22 講座 /年	22 講座 /年	22 講座 /年	22 講座 /年
				実績	22 講座 /年	26 講座 /年	28 講座 /年	26 講座 /年	

主な事業名		役職や担当業務に応じた効果的な研修、OJT基本計画に基づく組織的なOJTの実施【総務企画課】 接客マナーの向上に向けた取組【業務振興課】							
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)					
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計			
1,594	1,571	0	1,571	1,077	0	1,077			
達成指標	(イ) 人材育成等を目的とした局独自の研修の実施、改善			達成状況	達成している				
【R6 年度事業計画】 企業職員にふさわしい人材育成及び職務の遂行に必要な能力開発を行うために、局主催での研修実施をはじめ、知事部局での研修や外部機関の研修に参加させます。 局主催の研修実施にあたっては、内容等の設定を適切に行うとともに、受講者の意見を踏まえるなど、より質の高い研修効果を目指し内容等の見直しを行っていきます。 全職員に接客対応マニュアルを配布するとともに、一人ひとりが自己の接客態度を振り返る接客マナーチェックテストを一斉実施します。 また、外部講師による接客サービス向上研修を継続的に実施します。 さらに、接客サービス推進月間では、各所属に接客サービスについて点検・改善を図るとともに、委託会社への意識啓発を図ります。 局に蓄積されている技術力、現場のノウハウを効果的に継承させるため、OJT基本計画に基づき、OJTの有効な推進を図ります。					R3	R4	R5	R6	R7
				計画	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施（毎年度）				
				実績	局独自の研修の継続（1 研修 不 開 催）、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施	
【事業の実施状況】 ・令和5年度に引き続き、研修効果等を勘案しながら局主催研修の開催方法及び内容の検討を進め、研修を実施しました。 ・初任者研修については、局職員講師によるオンデマンド配信で実施し、OJT研修（推進責任者研修及び担当者研修）については、研修効果を高めるため対面形式で実施しました。 ・コンプライアンス特別研修については、重点的に意識の向上を図るべきコンプライアンス推進員等は対面形式で実施し、他の職員は職場研修及び総務企画課職員によるオンデマンド配信で研修を実施しました。また、管理者研修（所属長向けコンプライアンス研修）は、前年度の受講者アンケート結果を踏まえたテーマを設定し、引き続き対面形式で実施しました。 ・接客サービス向上のため、新規採用職員及び水道事務所を対象とした「接客サービス向上研修」を実施するとともに、接客サービス推進月間を設定し、各所属の接客サービスの改善や職員の知識・スキル向上を図りました。 また、「接客マナーチェックテスト」を実施することで、全ての局職員に接客態度を振り返るよう促しました。 ・従来、委託による集合研修で実施していた「クレーム対応実務研修」の実施方法を見直し、所属単位で課題を把握し、個々の課題に適した研修が実施できるよう、接客サービス向上推進リーダーが主体となって実施する研修に改めました。									
【達成状況の分析及び課題】 ・研修の対象者・目的等を踏まえ、より質の高い研修効果が得られるよう、研修ごとに開催方法及び内容等を検討し実施することができたことから、「達成している」と評価しました。									
【今後の具体的取組】 ・引き続き社会情勢等を踏まえた研修の実施を検討するとともに、より質の高い研修効果を目指し、研修内容や研修方法の検討を進めます。									

主な事業名		ホームページ・広報誌による情報発信、学校訪問、職場見学会等の実施【総務企画課】					
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)			
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計	
942	0	0	0	0	0	0	
達成指標	(ウ) 事業運営に必要な執行体制の確保				達成状況	達成している	
【R6 年度事業計画】 事業運営に必要な人員を確保するため、ホームページや局紹介パンフレット等による情報発信、県内外の工業高校等への学校訪問及び職場見学会を開催するなどの取り組みを行います。 【事業の実施状況】 - 令和5年度に引き続き、県内外の工業高校等への訪問や職場見学会の開催などの採用活動を行いました。 - 全国の大学及び工業高校等への採用案内の送付等により、採用情報の周知を行いました。 - 採用選考では、民間企業経験者を4名採用したほか、知事部局等との積極的な人材交流を行い、年齢構成のバランスにも配慮しました。 【達成状況の分析及び課題】 - 学校訪問等の職員採用活動を行ったほか、知事部局等との積極的な人材交流などを行い、事業運営に必要な執行体制を確保できたことから、「達成している」と評価しました。 【今後の具体的取組】 - 今後も他自治体等の厳しい人材獲得競争が見込まれることから、引き続き各種広報媒体の活用や学校訪問等による計画的な職員採用活動を行うとともに、職員の再任用や知事部局等との積極的な人材交流に努めていきます。							
	R3	R4	R5	R6	R7		
計画	新規採用や知事部局との人事交流等の実施（毎年度）						
実績	事業運営に必要な執行体制の確保	事業運営に必要な執行体制の確保	事業運営に必要な執行体制の確保	事業運営に必要な執行体制の確保			

主な取組名 ② ICTや民間活力の活用による業務の効率化

主な事業名		支払方法の多様化/手続き、問い合わせ・御相談のオンライン化等（再掲）【業務振興課】					
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)			
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計	
1, 244, 201(再掲)	1, 112, 768(再掲)	0(再掲)	1, 112, 768(再掲)	1, 105, 912(再掲)	0(再掲)	1, 105, 912(再掲)	
達成指標	(エ) 支払方法の多様化及び手続き、問い合わせ・御相談等のオンライン化の実施状況（再掲）				達成状況	達成している	
【R6 年度事業計画】 「千葉県営水道 ICT 等を活用したお客様サービス業務改善方針」に基づく取組として、納期限が過ぎた水道料金等を、水道事務所等の支払い窓口に出向くことなく、コンビニエンスストアで支払いが出来るサービスを一部の地域で導入します。 なお、対象の地域は今後拡大していく予定です。 また、令和7年度の新受付システム稼働に向け、システム開発や水道料金システムの改修等を進めます。 【事業の実施状況】 令和6年5月から納期限が過ぎた水道料金等を、水道事務所等の支払い窓口に出向くことなく、コンビニエンスストアで支払いが出来るサービスを一部の地域で導入しました。また、新受付システムの稼働に向けてシステム開発、水道料金システム改修を進めました。 【達成状況の分析及び課題】 令和6年度においては、事業計画に掲げた項目について実施したことから「達成している」と評価しました。 【今後の具体的取組】 令和8年1月の新受付システム稼働に向け、更に開発・改修等を進めてまいります。							
	R3	R4	R5	R6	R7		
計画	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込みWeb受付導入	コンビニ端末を利用した支払い手段導入	新受付システムの稼働		
実績	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込みWeb受付導入	コンビニ端末を利用した支払い手段導入			

主な事業名		I C T（情報通信技術）等の活用による業務の効率化に向けた検討【総務企画課】							
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)					
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計			
3, 096	2, 224	0	2, 224	2, 017	0	2, 017			
達成指標	(オ) I C T（情報通信技術）等を活用した業務の実施と更なる効率化の検討			達成状況		達成している			
【R6 年度事業計画】 令和 6 年度は、令和 5 年度に試行的に導入したウェアラブルカメラ（※）の成果の評価・検証等を進め、その結果を各所属へ展開し、本格的に導入します。また、ローコード開発ツール（※）の活用による業務効率化を図ります。 併せて、上記の機器等の導入結果や県（知事部局）の動向を踏まえ、ICT（情報通信技術）の利活用による業務の効率化に向けて検討を進めます。 ※ウェアラブルカメラ：現場で装着・設置して撮影した映像を遠隔からリアルタイムで確認・会話できるクラウド録画型カメラ ※ローコード開発ツール：クラウド上で様々な職員が同時にデータを閲覧、編集できるデータベース型の業務システム（アプリ）					R3	R4	R5	R6	R7
				計画	検討の実施	検討の実施	機器等の試行的導入	ウェアラブルカメラの本格的導入等	その他検討の実施
				実績	検討の実施	検討の実施・機器の実証実験等	機器等の試行的導入	ウェアラブルカメラの本格的導入等	
【事業の実施状況】 令和 5 年度に試行的に導入したウェアラブルカメラについて、引き続き、浄水場や水道事務所、施設整備センターにおいて活用し、情報伝達の迅速化など、業務の効率化が図れることが確認できたことから、本格的導入しました。 また、令和 5 年度に引き続き、ローコード開発ツールを活用した幕張庁舎での郵便物集計システムを運用しました。 その他、県（知事部局）の動向を踏まえ、会議や打ち合わせ、決裁時におけるペーパーレス化を推進しました。									
【達成状況の分析及び課題】 上記の取組を通じ、業務の効率化を推進したことから「達成している」と評価しました。									
【今後の具体的取組】 ウェアラブルカメラについて、本格的に導入したことから、引き続き利活用することで業務の効率化を図ってまいります。 また、ローコード開発ツールの活用により、引き続き業務効率化を図ります。 併せて、ICT（情報通信技術）の利活用による業務の効率化に向けて検討を進めます。									

主な事業名		配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託/D B等の新たな契約手法の調査・検討【給水課】				
R6 年度予算額(千円) ※铸铁管更新工事（再掲）				R6 年度決算額等(千円) ※铸铁管更新工事（再掲）		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
28, 400, 000（再掲）	27, 651, 566(再掲)	11, 156, 535(再掲)	38, 808, 101(再掲)	26, 342, 558(再掲)	10, 745, 161(再掲)	37, 087, 719(再掲)
達成指標	（カ）配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施			達成状況		達成している
【R6 年度事業計画】						
増加する管路の更新・整備需要に対応するため、監督職員が行う工程管理や工事現場における立会、施工状況の確認等の業務を可能な限り民間業者に委託することにより業務の効率化を図るとともに、新たな契約手法として令和４年度に試行導入した概算数量設計発注方式について、引き続き試行工事を実施します。						
【事業の実施状況】						
令和６年度は、配水管整備工事において施工管理業務の民間委託を１４本実施しました。						
また、令和４年度から試行導入している概算数量設計発注方式について、試行設計業務委託を１２本、試行工事を１７本発注しました。						
【達成状況の分析及び課題】						
施工管理業務委託の実施により業務の効率化が図られたことから、「達成している」と評価しました。						
【今後の具体的取組】						
今後も、民間活力を活用した業務の効率化を図るとともに、概算数量設計発注方式においては、引き続き試行工事を実施していきます。						

主な取組名 ③ システムの安定運用及びセキュリティ対策の強化

主な事業名		情報システム及びネットワークの整備【業務振興課】							
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)					
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計			
4,329,561 (※) (1,026,569 再掲)※	4,000,713 (895,204 再掲)	0 (0 再掲)	4,000,713 (895,204 再掲)	3,849,611 (895,202 再掲)	0 (0 再掲)	3,849,611 (895,202 再掲)			
達成指標	(キ) 情報システム等の整備件数			達成状況	達成している				
【R6 年度事業計画】 情報システムの安定運用及び情報資産の安全性確保を図るため、機器等の更新及びシステム改修を行うとともに適切な維持管理を実施します。 ・新受付システムの開発 ・総合財務会計システムの改修 ・管路情報管理システムの更新 等 ※一部再掲 新受付システムの開発 1,026,569 (千円) 3 (6) ①支払方法の多様化や手続き等のオンライン化等					R3	R4	R5	R6	R7
				計画	18 件/年	13 件/年	6 件/年	4 件/年	5 件/年
				実績	17 件/年	13 件/年	6 件/年	4 件/年	
【事業の実施状況】 新受付システムの開発、総合財務会計システムの改修、管路情報管理システムの更新、水質情報管理システムのサーバ OS 更新の計 4 件の整備を実施しました。									
【達成状況の分析及び課題】 計画通りに情報システムの整備を実施することができたことから、「達成している」と評価しました。									
【今後の具体的取組】 新受付システムの開発継続のほか、新庁舎移転に伴うネットワーク機器の調達など、引き続き情報システムの安定的な運用に向けた整備を実施していきます。									

主な事業名		情報セキュリティ研修の実施【業務振興課】				
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	(ク) 情報セキュリティ研修等受講者数			達成状況		達成している
【R6 年度事業計画】 水道サービスの安全かつ持続的な提供を確保するため、職員のセキュリティに対するさらなる知識の習得や意識の向上を図る研修等を実施し、個人情報等の保護及び不正利用の防止に取り組めます。 【事業の実施状況】 情報セキュリティの知識や意識の向上・改善に向けた情報セキュリティ研修等を情報セキュリティ担当者及び管理職職員、新任職員など多くの職員へ実施した結果、延べ 661 名が受講しました。 【達成状況の分析及び課題】 職員への情報セキュリティ研修について、計画以上の受講者があったこと、受講後アンケートの回答者の約 9 割が研修を理解しセキュリティ意識が向上したと回答したことから、「達成している」と評価しました。 【今後の具体的取組】 引き続き職員の情報セキュリティの知識や意識の向上・改善に向けた情報セキュリティ研修を実施します。また、研修内容については、最新のセキュリティインシデントの事例やコンピューターウイルス感染事例等について扱い、現実にも則した内容となるよう努めます。						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	150 名 /年	150 名 /年	150 名 /年	150 名 /年	150 名 /年	
実績	198 名 /年	231 名 /年	585 名 /年	661 名 /年		

主な事業名		ネットワークの監視【業務振興課】							
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)					
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計			
0	0	0	0	0	0	0			
達成指標	(ケ) 障害等への即日の初動対応率			達成状況		達成している			
【R6 年度事業計画】 県営水道では、情報システムを幅広い分野で活用しており、システム障害等は業務の継続性に大きな影響を及ぼすことから、ネットワークの監視を行っております。監視の結果、計画停電等の既知の障害等を除き、業務の継続に影響のあるネットワークの性能低下や障害等を検知した場合は、初動対応を即日実施し、障害等の影響の最小化を図ります。 【事業の実施状況】 監視サーバを用いることにより、通信機器における動作状況を常時監視しています。監視業務は外部委託により 24 時間 365 日継続して実施しています。異常があった際は職員や保守業務委託者による復旧を行っています。 【達成状況の分析及び課題】 ネットワークの異常を検知した際には、原因切り分けを速やかに行い、可用性を確保したことから、「達成している」と評価しました。 【今後の具体的取組】 引き続きネットワーク監視を行うとともに、障害時には速やかに対応を実施し、ネットワークの安定運用に努めます。					R3	R4	R5	R6	R7
				計画	100%	100%	100%	100%	100%
					/年	/年	/年	/年	/年
				実績	100%	100%	100%	100%	
/年	/年	/年	/年						

主な取組名 ④ 健全経営の推進

主な事業名		経費の削減【総務企画課】							
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)					
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計			
0	0	0	0	0	0	0			
達成指標	(コ) 経費の削減			達成状況	達成している				
【R6 年度事業計画】 健全経営を維持しながら、今後、増大する水道施設の更新と耐震化を実施していくため、品質確保に留意したコスト削減を進めていきます。 【事業の実施状況】 - 小中口径管の更新工事において、発注規模の大型化により、契約事務量の低減化に努めるほか、長寿命管であるGX管を使用することにより、ライフサイクルコストの低減化に取り組みました。 - 計器や漏水の修繕時の監視を、従来の職員による監視からウェアラブルカメラによる遠隔監視に切り替えることで、職員が現場に向かう交通費の削減を図りました。 - 事務用品等について一括調達を行うことで調達コストと契約事務の低減化を図りました。 - 入札に係る審査会や経営戦略会議など、会議等で使用する資料のペーパーレスを推進し、また、紙決裁から電子決裁に変更するなどしながら、印刷事務負担の低減とコピー用紙等の削減を図りました。 - マイクロ水力発電及び太陽光発電の運用と必要圧力に合わせた送配水圧力の低減等により、電力消費量（電気料金）の削減を図りました。 ＜削減効果の例＞ - ペーパーレス化に伴う印刷用紙の削減： ＜入札に係る審査会＞約 28,000 枚/年、＜経営戦略会議＞約 12,000 枚、＜総合評価技術審査会＞約 4,400 枚/年 等 - マイクロ水力発電等の運用による電力消費量の削減：約 4,500 千 kWh を発電（一般家庭約 1,000 戸分に相当） 【達成状況の分析及び課題】 上記の取組を実施することにより、品質確保に留意したコスト削減を実施するとともに、経常費用の圧縮に努めたことから、「達成している」と評価しました。 【今後の具体的取組】 引き続き、健全経営を維持しながら、水道施設の更新と耐震化を実施していくため、品質確保に留意したコスト削減及び業務効率化の取組を行っていきます。					R3	R4	R5	R6	R7
				計画	工事コスト・ランニングコストの縮減 経常費用の圧縮（毎年度）				
				実績	品質確保に留意したコスト削減に努めた	品質確保に留意したコスト削減に努めた	品質確保に留意したコスト削減に努めた	品質確保に留意したコスト削減に努めた	

主な事業名		企業債の活用及び適正管理、国への要望活動【財務課】						
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)				
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計		
36,900,000	31,900,000	5,000,000	36,900,000	21,000,000	15,900,000	31,900,000		
達成指標	—			達成状況	—			
【R6 年度事業計画】								
水道施設の更新需要や、労務単価及び資材単価の増大に伴い、建設改良費が増大する中、更新財源の確保を図っていく必要があることから、企業債について、金利の動向、企業債残高、資金残高等に留意しつつ、活用を図っていきます。令和6年度当初予算のとおり企業債を発行した場合、年度末企業債残高は1,870億円となり、中期経営計画における令和6年度末企業債残高1,804億円を超える見込みです。 ・令和6年度起債見込（当初予算）369億円				R3	R4	R5	R6	R7
				計画				
実績								
また、企業債の借入による将来負担の軽減を図るため、平成19年度から平成24年度にかけて実施された公的資金補償金免除繰上償還制度の復活や要件の緩和を目指し、公益社団法人日本水道協会の総会などを通じ、国への要望活動を行っていきます。								
【事業の実施状況】								
令和6年度最終予算（R5→R6 繰越含む）369億円に対し、210億円分の企業債を発行しました。充当対象となる建設事業の繰越に伴い、令和6年度中の起債を一部見送ったため、繰越分については繰越事業が完了する令和7年度中に発行予定です。								
企業債残高は令和6年度末で1,661億円となり、中期経営計画における令和6年度末企業債残高である1,804億円を143億円下回っています。								
また、総務省が作成している「経営比較分析表」の指標の1つである「企業債残高対給水収益比率」は、令和6年度末に2.80倍となりました。前年度の数値ではありますが、令和5年度の類似団体平均値の2.56倍と比べてやや高い水準となりました。								
○企業債残高				単位：百万円				
	R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7見込み			
中期経営計画長期財政収支見通し	149,061	159,155	171,742	180,443	191,625			
実績	138,561	139,155	157,118	166,128	205,824			
長期財政収支見通しR7残高と実績の差	53,064	52,470	34,507	25,497	▲ 14,199			
【今後の具体的取組】								
水道施設の更新需要や、労務単価及び資材単価の増大に伴い、建設改良費が増大する中、更新財源の確保を図っていく必要があることから、企業債について、金利の動向、企業債残高、資金残高等に留意しつつ、活用を図っていきます。また、企業債の借入による将来負担の軽減を図るため、公的資金補償金免除繰上償還制度の復活や要件の緩和を目指し、公益社団法人日本水道協会の総会などを通じ、国への要望活動を行っていきます。								